

大切なことはすべて原宿が教えてくれた 原宿ファッション、Forever!

世界のどこの街とも違う文化をもつ、日本のストリートファッションの聖地“原宿”。おしゃれな若者を惹きつけてやまないその魅力を探るべく、原宿のファッションの歴史を振り返ってみました。

Photo: Martin Holtkamp, Kazuki Sato, Masayuki Suzuki, Aflo Illustration: Naoki Shoji Text & Edit: Mayumi Amano



赤富士

知る人ぞ知る名店。70年代、当時ではめずらしいロックファッションを取り扱っていた。



ピテカントロプス・エレクトス 1982-1984

最新のカルチャーを好み、トンガリキッズと呼ばれた前衛的な若者に支持されたライブハウス。仕掛け人は桑原茂一氏。



セントラルアパート 1958-1996

おしゃれな大人しか立ち入れなかったならぬ雰囲気だったとか。1階のカフェには芸能人や著名人が集った。



同潤会青山アパート 1926-2003

1926年竣工、レトロな味を出し始めた03年老朽化のため解体。70年頃から小洒落たお店がたくさん入店。

原宿マップ

原宿の歴史を彩った、まさに原宿レジェンダなスポット。あの時、あの空間がなければ原宿の歴史は変わっていたかも?という、名所をピックアップしました。きっとここからステキな物語がいくつも生まれていたことでしょう。



Café de Ropé 1972-2001

オープンカフェを世に広めた伝説のカフェ。おしゃれな外国人客からも人気があった。

キーウエストクラブ

ドラマの撮影でも使用された83年オープンのおしゃれなカフェバー。入店の際は服装チェックが行われた。

OH GOT CAFÉ

80年代から00年代まで原宿の裏通りにあった、おしゃれなカフェバー・レストラン。ごはんを食べながら映画が観られた。



ペニーレイン 1974-Now

74年に発表された吉田拓郎の「ペニーレインでバーボン」のモチーフになったバー。現在も営業中!



ボートハウス 1979-Now

行列ができるショップの元祖。最盛期の81年には1日1000枚以上を売り上げ、生産が追いつかなかったとか。

パレフランス 1974-2003

「オーバカナル」をはじめとしてバリを意識したおしゃれなお店が入っていた名所のビル。



歩行者天国 1977-1998

77年7月から始まった歩行者天国、通称「ホコ天」。交通渋滞&風紀の乱れにより、98年7月に終了した。